

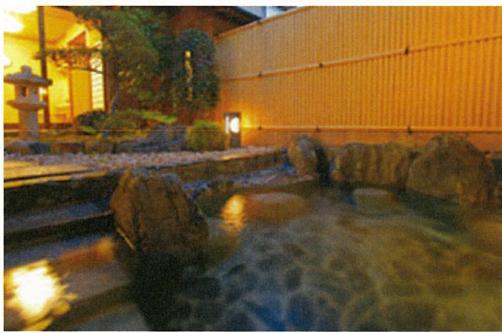
前社長の急逝にもスムーズな事業継続

企業紹介

有限会社 Y

- 代表者: F. T.
- 所在地: 長野県
- 従業員数: 4名
- 事業内容: 旅館業
- 連絡先:

長野県内にある家族経営の小規模旅館 資本金:1,000万円



上席専門経営支援員
宮島 章



支援概要

■企業の現状・課題及び支援の経緯

支援依頼を受けた平成27年末の時点で、創業社長のA氏は92歳と高齢でほぼ寝たきりの状態であった。実質的な経営はA氏の娘B氏と娘婿C氏で行っていたが、売り上げはジリ貧で債務超過の非常に厳しい状態にあった。初回訪問時の面談で、単なる事業承継というより事業承継含みの『経営再建』を目標にすることが妥当と判断し、他の2名の上席も交えたチームでの支援を計画した。

■実施した支援内容

財務状況、営業状況等を詳細に確認し、①財務の改善策 ②增收策 ③それらを踏まえた詳細な実施項目のアクションプランで構成した『Y社様の事業承継に向けてのカイゼンご提案』を作成し、提案した。

財務改善上のキーポイントは、債権放棄の確定、早期のC氏への社長交代とC氏の子供への承継をも考慮した株式のC氏への早期集中であった。

增收策のキーポイントは、ターゲット顧客の年齢層および地域限定とそれに適した販促策の絞り込みであった。

支援の結果及び今後の展開等

財務改善絡みについてはすべてが予定通り進んだ訳ではないが、決算期の5月末までに社長交代は完了した。奇しくもその翌月A氏が急逝されたが、大きな混乱もなく、スムーズに事業は継続された。

增收策についてもなかなか予定通りに進んではいないが、今夏については外部環境にも助けられ、客数は前年比25%アップを達成した。

何よりも新社長C氏が経営意欲を発揮され始めたことが大きかった。

支援を受けて

赤字法人を引き継ぐにあたり、課題が山積みで当惑していたが、商工会の経営支援員はじめ上席専門経営支援員の支援を受け、課題を整理していただきたいうえ、やるべき順序立てもいただき方向性が見えてきました。なかなか前に進めませんが着実に進め、次の代への承継までには今より立派な会社にしたいと考えています。

